

2020年5月8日

「GOOD SAMRITAN」 (グッド・サマリタン) — 「隣人愛」の実践として (3)

副校長 竹山 幸男

2020年の5月ゴールデンウイーク。テレビのニュースでは、いつもは多くの観光客が訪れている行楽地も人影がまばらな様子が伝えられていました。“STAY HOME, SAVE LIVES”のメッセージを心にとめて、「巣ごもり」しながらいつもとは違うゴールデンウイークを過ごされた皆さんも多かったことと思います。この1週間、お天気のいいさわやかさを感じる日も多く、京都では気温も30度近くになり、春を通り越して初夏を感じさせるくらいの日もありました。ゴールデンウイークの期間も、皆さんの家の周りの風景や自然にふれて、いつもなら見過ごしてしまう何気ない風景、佇まいや、木々の緑や鳥の音などに目や耳を澄まされた方もあったと思います。1日1日、朝晩の陽(ひ)も長くなり、確実に季節が進んでいることを感じさせられる今日このごろです。

このゴールデンウイーク期間中に、全国対象の緊急事態宣言が延長されることになり、京都府も「特定警戒地域」としての継続指定がなされることになりました。これに伴い、同志社中学校も臨時休校期間を6月7日(日)まで延長し、これまで続けてきた「学習ポータルサイト」を用いた学びを学習の基本に据えて、学校としての学びを継続することにいたします。この新たな学びに対して、新年度が始まってからの1か月間、私たち教職員も工夫を凝らして動画や課題を作成し、生徒の皆さんにレスポンスを返しながら、生徒の皆さんとの学びを続けてきました。生徒の皆さんが、各教科の課題に対して、一生懸命取り組んで提出していただいていることも私たちの励みになっています。私たちも生徒の皆さんもまだまだ慣れていない面もあるかと思いますが、各教科の学びの内容も含めて、一步一步前に進め、生徒の皆さんとのやり取りの内容も充実させていきたいと考えています。皆さんの中で、わからないことやご質問がある場合には、遠慮なく教科、担任の先生、ICT機器利用のヘルプデスク(校務センター)までご連絡ください。

第5週目(5月11日～)は、第4週目に引き続き、これまでの動画を用いた課題の提示、提出、メールでの質問、教科によってはzoomで皆さんからの質問を受け付ける時間を設けますので、生徒の皆さんも参加してみてください。あわせて、各学年の国語、数学、英語、社会、理科の先生方と生徒の皆さんとの面談(クラスまたはグループなどで)を、5月18日(月)以降に行っていく予定です。各教科の担当の先生からの予定の連絡をしっかりと見ていただいて、その指定された時間帯に面談に参加してください。(生徒の皆さんの参加確認も取る予定です。)また、日ごろの担任の先生からの連絡へのレスポンス(応答)に加えて、担任の先生と

クラスの生徒の皆さんとの面談が続けられています。すでに面談が終わった皆さん、これからの皆さんもあると思いますが、皆さんの日頃の様子などをぜひ知らせてください。健康観察については、引き続き保健室の先生あてご提出ください。第5週目の詳細については、別途ホームページ上の教務部より「第5週目のお知らせ」または学習ポータルサイト上の生徒ページ・生徒伝達に「第5週目のお知らせ」をご覧ください。機器（iPad）やアプリの使い方で不明な点があれば、「学習ポータルサイト」（→ [生徒ページ] → [在宅学習サポート]）にアドバイスや解決方法を掲載しています。また、「2020年度版ICT活用・情報倫理ハンドブック」（同志社中学校）の1～28ページに、課題提出で用いているロイロノート、zoomの利用方法を含め、iPadでの学習に際してのさまざまな活用ガイドが掲載されていますので、取り組みの際には、引き続き参照するようにしてください。

さて、今日も2020年の学校聖句（『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』『隣人を自分のように愛しなさい。』）について、前回に引き続き「善きサマリア人のたとえ」（ルカによる福音書10章25節～37節）のお話から「隣人愛」についてさらに考えてみたいと思います。

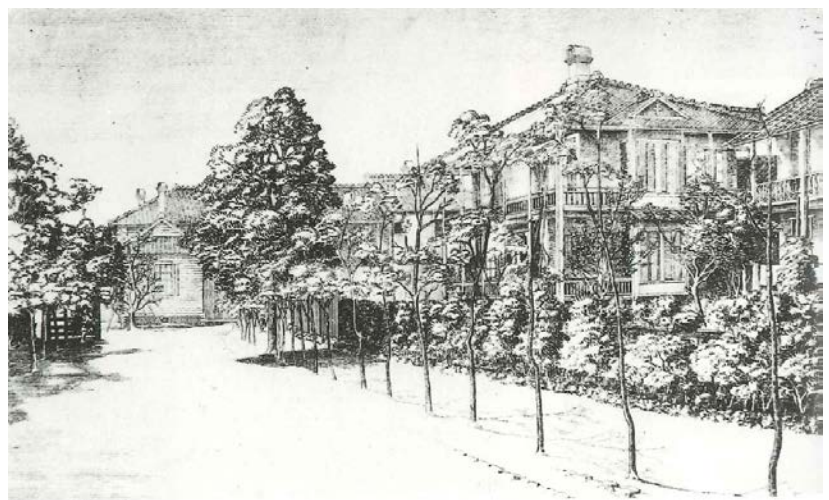
前回のメッセージから、このたとえ話は、サマリア人の心から心配し寄り添う思いや見返りを求めない親切な行動、無償の愛による具体的な行動を通じて、「真の隣人愛」を私たちに教えようとされていること。そして、私たち一人ひとりも、「神様が私たちがどれだけ愛してくださっているか、大切にいただいているか」をまず理解して、実感するところから「自分を愛するように隣人を愛する」ことができることを教えられました。

“GOOD SAMARITAN”（グッド・サマリタン）この英語の表現は、「善きサマリア人」のたとえ話から生まれた表現で、一般的には「隣み深い人」という意味で用いられています。アメリカでは、ほとんどの州でGOOD SAMARITAN LAWと呼べるような法律があります。内容は、街中で怪我人や急病人に遭遇した市民が、進んで救命手当などを行った場合、その相手の方が結果としてどんな状態になったとしても法的な責任は問われないというものです。このことから、新約聖書のこのたとえ話から、「善きサマリア人」といえば、「善意で人に助けの手をのべる人」「親切な人」「隣み深い人」という理解が社会に浸透していると言えます。一方、“GOOD SAMARITAN HOSPITAL”として、「善きサマリア人」という言葉が、直接病院の名前として用いられているケースも見られます。また、今から10年前、東日本大震災のときに、震災被害を受けている地域のボランティアに海外から来てくださったクリスチャンの支援においても、“GOOD SAMARITAN”という団体名で、津波からの泥だしや家屋の修繕をお手伝いされた方々がありました。さまざまところで“GOOD SAMARITAN”という表現が用いられていることから、欧米においては、聖書に示された「善きサマリア人」の姿が、医療や介護にあたるお仕事、いろいろと困っておられる、弱い立場の方々を助けるお仕事についておられる人々の模範とされてきたことがよくわかります。

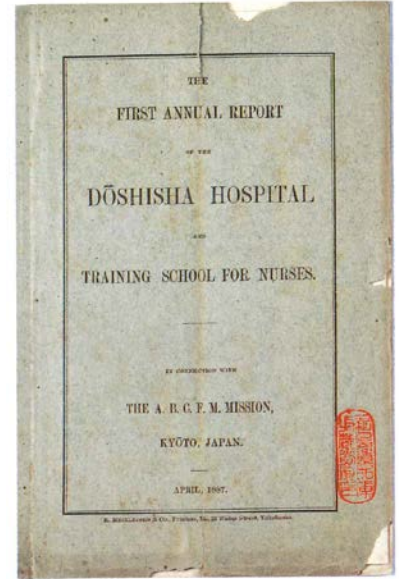
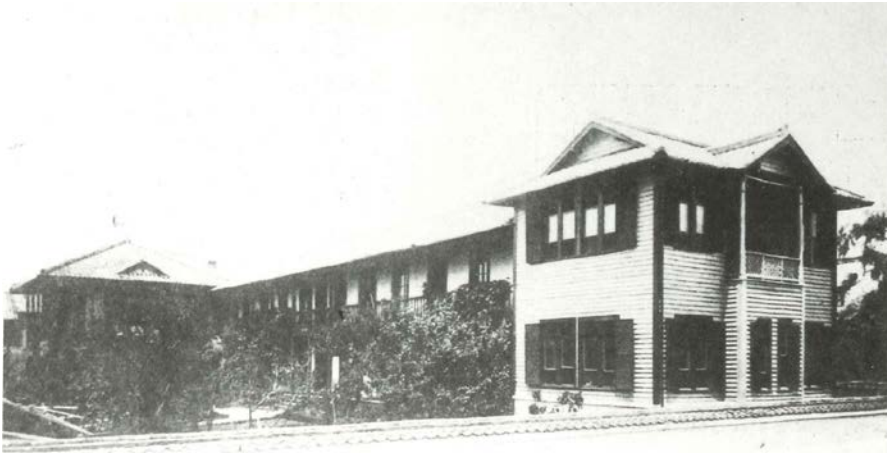
実は、同志社の創立者・新島先生は、同志社創立の当初から、キリスト教主義の総合大学構想の中の1つとして医学教育、医学校を設置するビジョンを持っていました。実際には、アメリカン・ボードとの考え方との違いから、まず1887年1月に看病婦（看護師）学校と病院を創設することになります。それに先立つ1886年9月、後の院長として招かれた医療宣教師のベリーとともに「京都看病婦学校設立の目的」と題して講演を行いました。看病婦（看護師）養成教育は、ナイチンゲールから始まったとされる、と話した上で、その本当の源は、キリストによる愛の教えとその実践によるものだ、と述べています。

「『己を愛するごとく人を愛すべし。』これこそがキリストの御心に沿うものです。ナイチンゲールもこの教えに基づき学校を始めた。今、多くの国々で、病院、貧院、看病婦学校なども設置されている。そして、社会のため、慈善心、宗教心より人を助け、人を救う目的をもっている。この目的は、キリストの『人を愛せよ』という教えに源がある。1つめは、病気の方々の苦痛を救うこと、2つめは、熟練した看病婦（看護師）の養成、3つめは、病気の方々の心を慰めることが非常に大切なこと。・・・病気の方々と接するのは、お金、名誉、義務のためではなく、病気の方々の心を思いやり、真実の愛の心をもって対処する人が必要となる。」
(岩波文庫・新島襄教育宗教論集127～133ページ、新島襄全集第I巻110ページ)

京都看病婦学校は、日本においては2番目の看病婦（看護師）養成の学校と言われている。「アメリカ初の有資格看護婦」として著名な、現役の看護師であったリンダ・リチャーズを招き本格的な看護教育をしようとしていたことも特筆すべきこととされています。また、同志社病院では、外来者が1年間で7800人もおられたと記録されています。（場所は、京都御苑西の宣教師デイビス邸内、現在のKBS京都の場所でした。）1890年代半ばの同志社の財政難により、創設10年目の1897年に病院、看護学校はクリスチャン医師の佐伯理一郎に管理が委ねられました。（1年生の聖書の教科書「新島襄の扉」では36ページ、「現代語訳新島襄」では255ページをご覧ください。詳しくは、本井康博先生の「襄のライフは私のライフ」新島襄を語る・別巻（4）184～189ページ（思文閣出版）をお読みください。）



まさに、同志社の創立者・新島先生もまた、主・イエスの語られた御言葉「隣人を自分のように愛しなさい」、「GOOD SAMARITAN」のスピリットをもって、同志社看病婦学校や同志社病院を設立し、医療を通じて「隣人愛」を実践しようとされたのでした。



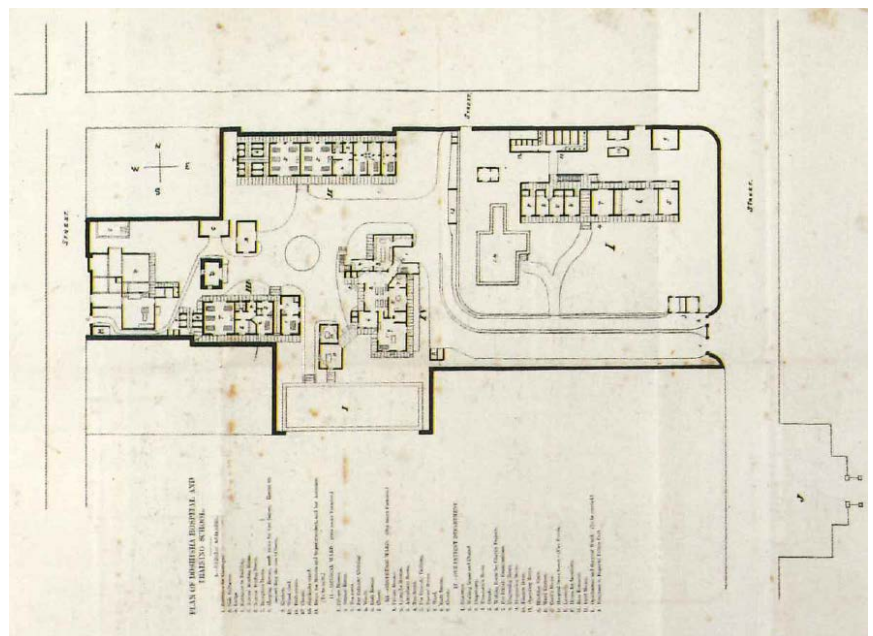
247. リンダ・A・リチャーズ教授
(1841~1930)



246. ジョン・C・ベリー院長
(1847~1936)



245. 佐伯理一郎医師
(1862~1953)



*資料：同志社病院、看病婦学校の図、3人の先生方の写真（写真集「新島襄 その時代と生涯」より）

現在、コロナ感染症の感染拡大に伴い、医療現場で働く看護師の方々も過酷な環境な中感染リスクと隣り合わせで、日々のお仕事を通じて“GOOD SAMARITAN”「隣人愛」を実践されておられる様子が新聞、ニュースから私たちに伝えられているところです。

「当初は1日に1つだったマスクも今は3日で1つ。1回ごとに使い捨てていた防護服も備蓄がなくなってきて1日1枚となった。もし防護服やマスクがなくなったらと思うと本当に怖い。」

「屋外で感染している人が多いと聞くので、（病院の用意したホテルの）外に出ようと思えない。（自宅にはふつうには帰らないので）私も隔離されているような暮らしだ。何か必要なものがあれば、家族がいない時間帯に取りに戻って、誰にも会わないようにしている。」

「収束はまだまだ先。とにかく家にいてほしい。感染することで、自分だけでなく、家族や医療現場に人に感染させるリスクがある。今は我慢して家にいるのが一番安全だと思ってほしい。」

これらは首都圏の病院で働いておられる女性看護師の話として語られたものです。（「看護師のコロナ最前線」（産経新聞2020年4月30日朝刊より））

大阪府の総合病院の女性看護師は、医療物資の不足や受け入れ医療体制がさらに厳しい状況に直面していると語られています。

・緊急事態宣言が出て1か月を経ても医療物資の不足は続いています。院内感染防止のために使う高性能のN95のマスクは72時間の使い回しで、防護服は一般病棟の看護師がポリ袋を代用することでかろうじて確保している。専用の手袋は、通常の手袋を2重にして使っている。

・病院には、最近、交通事故を起こし、新型コロナ感染の疑いのある患者さんも救急搬送されてきた。感染リスクは直接担当する医療従事者だけにとどまらず、院内感染もさらに広がる恐れもある。（朝日新聞2020年5月5日朝刊より）

必要な医療物資の確保、PCR検査体制の拡充と待機場所の確保、必要な医療体制の支援など、“GOOD SAMARITAN”「隣人愛」のスピリットでお仕事をされている方々をサポートする、国としての迅速かつ十分な環境整備が今こそ求められているところです。一方、世界では医療従事者の皆さんへの感謝と応援の気持ちをこめた市民のさまざまな取り組みが広がっており、日本でも「ブルーライトアップ」がすでに始まっています。

資料2：ブルーライトアップされた京都タワー



神様の愛を受け、主イエスを心に迎え入れ、神様の愛に生かされる者となっていくにつれて、私たち一人ひとりが「隣人愛」を具体的に実践して歩んでいけることを、聖書は語りかけています。そして、「隣人愛」による具体的な行動は、「受けるより与える方が幸いである。」（使徒言行録20章35節）【2020年同志社中学校年間聖句の3つ目】という生き方に自然とつながっていくものです。（同志社病院と同志社看病婦学校の跡地には、医療による「隣人愛」の実践という新島先生のビジョン・遺志を継いだクリスチャン医師の佐伯理一郎の「受るよりは興ふるは福也」ルビ打ち（文語訳聖書）の聖句が刻まれた石碑が立てられています。現在、清和キリスト教会（京都市上京区）の敷地となっています。



先週に引き続き、コロナ感染症の特別な状況の中で、「良きサマリア人」のように、毎日とても厳しい環境において、“GOOD SAMARITAN” 「隣人愛」のスピリットをもって、医療や介護に従事され日々のお仕事にあたっておられる方々のために、神様の御翼による見守りがあるように特に祈らせていただく1週間とさせていただきます。そして、私たち一人ひとりも、今いる場所で、また遣わされている場所で、“GOOD SAMARITAN” 「隣人愛」のスピリットをもって、日々の生活を歩んでいけるように、神様の前に静まり、祈らせていただきたいと思います。

「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちも互いに愛し合うべきです。」

(ヨハネの手紙I4章10～11節)



*アーティストのスガシカオさん等が、歌で医療従事者にエールを（#ありがとう医療関係の皆様）送られています。一度、聴いてみてください。

スガシカオ「あなたへ」Youtube <https://www.youtube.com/watch?v=XcKKWFaCgRs>



『いま様々な場所で、いろいろな形で医療を支えている皆さんに、感謝とエールを送る気持ちで歌を作りました。友達の桜井和寿くん（Mr.Children）と岡野昭仁くん（ポルノグラフィティ）も賛同してくれ、一緒に歌ってくれました。

みんな、気持ちは一緒です。特に新型コロナウイルス感染症の最前線にいる皆さんは、今は音楽を楽しむ時間も余裕もないと思います。どうか、ご自身を大切にしてください。そしてこの混乱が去ったあとでも、ゆっくりこの曲を聴いていただけたらと思います。

医療に携わる皆さんに、この曲が届きますように。

そして一日も早く、平穏な日常が戻ることを心から祈っています。』 スガシカオ

~~~~~

あなたへ

父さんとの別れの時

あなたは一緒に泣いてくれたんだ

「お願い、もう泣かないで」と

母親がなだめた

ありがとう ありがとう

友達は片手なくした

夢もギターも 諦めかけてた

でも新たな生き方を 歩き出せたよ

あなたのおかげで

Uh LALALA. Uh LALALA

病室の明かり消えても

あなたの明かりは 今日も消えない

ほんの少し眠った後

どうか命をつなげてください

いつかいつか

あなたに笑顔と安らぎを

いつかいつか

穏やかな毎日が きっと戻るから

いつか呆れるくらい

笑える日が 来ますように . . .

Uh LALALA. Uh LALALA